

2020年度 一橋大学大学院経済学研究科

特別選考（AO入試）による社会人の博士後期課程編入学生募集要項

一橋大学大学院経済学研究科では、社会人としての経験を積んだ上で、それによって培われた経済現象に対する問題意識をモチベーションに、より高度な研究を行うことを希望する者を対象とする博士後期課程編入学の特別選考（AO入試）を行っています。特別選考の受験者には、修士レベルの教育的バックグラウンドに加え、明確な研究テーマと、周到かつ具体的な研究計画を持っていることが強く期待されます。さらに、編入学後に博士論文作成のために必要な研究上のスキルを短期間で身につける心構えも要求されます。

1. 募 集 人 員

特別選考による博士後期課程編入学の入学時期には春入学と秋入学があり、入学時期により出願期間が異なります。

専 攻	募集人員
総合経済学	22名

注）募集人員には「進学生」と各種「編入学生」の募集人員を全て含みます。

2. 出 願 資 格

日本または外国の大学の大学院修士課程等を修了し、日本の大学の修士またはそれに相当する学位を授与された者で、修士またはそれに相当する学位取得後、博士後期課程編入学以前に、企業・官公庁・研究所等において原則2年以上の実務経験を有する者。

3. 出 願 書 類

	書 類 等	摘 要
1	入 学 志 願 票	交付の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
2	修士（相当）学位取得証明書	出身大学の学長または研究科長が作成したもの。 ただし修士課程修了証明書に修士の学位取得に関する事項が記載されている場合は修士課程修了証明書をもってこれに代えます。
3	写 真 票	交付の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
4	成 績 証 明 書	出身大学（学部）および大学院の成績証明書。
5	学 業 評 価 書	交付の用紙を用い、出身大学の指導教員もしくはこれに準ずる者が作成し、 <u>厳封</u> したもの（日本語または英語）。ただし、志願者の学習状況や研究能力等について十分な評価をなし得る者の学業評価書をもってこれに代えることができます。 出願書類一式とともに志願者が郵送提出するか、学業評価書作成者から直接、PDF ファイルを電子メールに添付して ec-kyomu@econ.hit-u.ac.jp まで送付されるように手配してください。メール提出の場合は他の出願書類の提出前に送付してください。
6	口述試験参考資料	交付の用紙に必要事項を記入してください。
7	修士論文（およびその他の研究実績）	修士論文またはそれを複写したもの4部。ただし、外国の大学の大学院等において、修士論文を提出せず、修士の学位に相当する学位を授与された者については、修士論文に代わる論文を提出してください（日本語および英語以外で書かれたものについては、原則として日本語または英語に全訳したものを添付してください）。 なお、修士論文の他に研究実績である論文（3本まで）の提出も認めます。その場合も4部ずつ提出してください。
8	修士論文（およびその他の研究実績）の要旨	日本語または英語で書かれた修士論文の要旨4部。日本語の場合は、8,000字以内にまとめ、A4判でワープロ等を使用し、1ページ1,000字程度。英語の場合は、A4判のダブル・スペースで8枚以内（ともに数式および表などを含む）。

		なお、修士論文以外の論文を提出する場合は、それらの論文についても個別に要旨を作成し、全部を修士論文要旨に関する制約と同程度の分量にまとめたものを、別途、4部提出してください。
9	研究計画書	日本語または英語で書かれた研究計画書4部。日本語の場合は、4,000字以内にまとめ、A4判でワープロ等を使用し、1ページ1,000字程度。英語の場合は、A4判のダブル・スペースで4枚以内（ともに数式及び表などを含む）。研究計画書にはこれまでの研究成果、および今後の研究計画（研究課題・目的・革新性・重要性・方法・参考文献等）について具体的かつ詳細に記述してください。
10	受験票送付用封筒	長形3号封筒（ハガキが入る大きさ）に、簡易書留相当分の郵便切手を貼付の上、受験票送付先の住所、氏名、郵便番号を明記してください。
11	住民票の写し（またはパスポートの写し） （外国籍を有する者のみ）	市区町村長が交付する住民票の写し（在留期間、在留資格を明記したもの）を提出してください。ただし、住民票の写しの発行が不可能な場合にのみ、代わりにパスポートの写しを提出してください。
12	検 定 料 30,000円	検定料30,000円分を以下の口座へ振り込み、明細書の <u>写し</u> を出願書類と一緒に提出してください（原本を提出しても特に希望がなければ返却はいたしません）。 銀行名： 三井住友銀行 SWIFT Code： SMBC JP JT 支店名： 国立支店 口座名： 国立大学法人一橋大学経済学研究科検定料口 口座番号： 普通預金 7761762 なお、日本政府（文部科学省）奨学金留学生は、検定料は不要ですが、その旨を証明する所属大学発行の証明書を提出してください。

注1）志願者が記入する書類は、すべて黒または青のペンまたはボールペンで記入してください。

注2）提出書類のうち英語以外の外国語で書かれた証明書等がある場合には、その日本語または英語訳を添付してください。

4. 出 願 方 法

- (1) 志願者は、上記の出願書類を一括し（書類は上から上記の番号順になるように封入してください）、郵送（書留郵便）により提出してください。書類を持参しての出願は受け付けません。封筒の表面左下に「大学院出願書類（AO入試）在中」と朱書き、出願期間内に必着とします。外国からの郵送は受け付けません。
- (2) 出 願 期 間
2019年10月1日（火）から2019年11月29日（金）まで（2020年春入学希望者）
2020年4月1日（水）から2020年4月30日（木）まで（2020年秋入学希望者）
- (3) 出願書類の提出先
〒186-8601 東京都国立市中2丁目1番地 一橋大学大学院経済学研究科
- (4) 志願者には、出願に先立ち、本研究科に研究テーマについて指導可能な教員がいることを十分に確認し、事前に該当する教員に連絡を取ることを勧めます。ただし、教員への事前の連絡は出願要件ではありません。すべての出願は、事前の連絡の有無によらず公平に審査されます。

5. 選 考 方 法

- (1) 第1次試験（書類審査）
学業評価書、修士論文、研究計画書、およびその他の提出資料に基づき書類審査を行います。出願書類受理後、原則として50日以内（ただし、授業休業期間を除く）に書類審査の結果を通知します。
- (2) 第2次試験（口述試験）
書類審査の合格者に対して、修士論文およびその他の研究業績に関する事項、および研究計画書に関連する事項について口述試験を行います。口述試験の日時および場所は個別に通知します。
なお、志願票に「英語による口述試験を希望する」と書いた受験者については、希望を考慮します。ただし、審査員が日本語での試験が必要と判断する場合には、その限りではありません。

6. 合 格 者 発 表

可否の結果は、志願者に個別に通知します。

7. 入 学 手 続 き

(1) 入学料の納入期間

2020年3月2日（月）から3月6日（金）まで（2020年春入学希望者）

2020年7月22日（水）から7月29日（水）まで（2020年秋入学希望者）

この期間内に納入がない場合は、入学辞退者とみなされます。

(2) 入学料の納入額

282,000円

出願時点で本学大学院修士課程または専門職学位課程に在学し、本研究科博士後期課程入学前に当該在学中の課程を修了見込みの者は、入学料は不要です。

注) 本学には、入学料の免除・徴収猶予の制度があります。入学料の免除・徴収猶予を希望する場合は、入学料を納入せずに、学生支援課にて申請書類の交付を受け、所定の期間内に申請を行ってください。入学料の納入後の免除・徴収猶予の申請はできません。また、申請を行っても不許可となることもありますので、入学料納入の準備は事前に十分行っておいてください。

(3) その他

- ・入学手続きに必要な提出書類とその提出方法については、合格者に改めて通知します。
- ・日本国籍を有しない合格者は、入学までに「出入国管理および難民認定法（昭和26年政令第319号）」において大学院入学に支障のない在留資格を有することが必要です。
- ・外国政府派遣留学生については、入学手続き時に派遣元機関からの入学承諾書が必要です。
- ・授業料（年額535,800円）については、入学後に納入することとなります。納入時期・納入方法については改めて通知します。
- ・入学金・授業料の納入金額は予定額であり、この納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金額が適用されます。

8. 注 意 事 項

- (1) 入学試験に関する事務は、すべて経済学研究科事務室で行います。
- (2) 入学試験に関する照会は、書面、電子メール（ec-kyomu@econ.hit-u.ac.jp）または、ファックス（042-580-8195）で行ってください。電話による問い合わせには応じられません。
- (3) 試験の際には必ず受験票を持参してください。
- (4) 出願書類は返却しません。既納の検定料の払い戻しは行いません。また、各種証明書は必ず原本を提出してください。複写したものは受け付けません（ただし、検定料振込明細書・パスポートの写しを除く）。
- (5) 入学試験合格者の成績は、入学後の教育・学業支援等の目的に使用することがあります。

※国際学生館景明館および国際学生宿舎（学生寮）について

本学国際学生館景明館および国際学生宿舎（学生寮）への入居希望者は、6月と12月（予定）に本学ホームページに「入居者募集要項」を公表しますので、要項に従い申請してください。なお、6月は外国人留学生のみとなります。

▷日本人学生対象（日本への永住が許可されている者も含む）

<http://hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html>

▷外国人留学生対象（「留学」の在留資格を有する者又は取得できる見込みの者）

http://international.hit-u.ac.jp/jp/curr/accom/application_for_dorm/index.html

学生区分により募集の資料の送付先や募集期間が異なります。

十分に注意して、上記のページから確認して下さい。

※予防接種について

入学直後の健康診断時に、「予防接種記録」（麻疹、風疹、ムンプス、水痘の予防接種が済んでいるか、または必要な抗体を持っている旨の証明書）を提出していただきますので、抗体価記録や母子手帳で確認しておいてください。

※障害等により受験上及び入学後の修学における配慮を希望される方へ

障害等があり受験上及び入学後の修学における特別な配慮を希望する者は、以下の期限までに経済学研究科事務室に事前相談の申請をしてください。

2019年7月31日（水）まで（2020年春入学希望者）

2020年1月31日（金）まで（2020年秋入学希望者）

（上記日以降にも相談申請を受け付けますが、その場合、受験上の配慮が間に合わないことや、修学上の配慮については希望日に開始できないこともあります。） 事前相談の申請は、本学への出願を義務付けるものではありません。本研究科への出願が未定であっても事前相談申請を受け付けております。 なお、希望する配慮内容によっては、回答に時間を要することがあります。

受	✕
---	---

2020年度 一橋大学大学院経済学研究科
特別選考(AO入試)による社会人の博士後期課程編入学試験
入学志願票

志望研究科 専攻名		経済学研究科 総合経済学 専攻		(入学後の研究題目)		
氏名	19 年 月 日生			男・女	国籍	
	(英語表記) _____					
写真貼付欄 1. 写真は最近3ヶ月以内に撮影した、正面向、上半身脱帽、タテ6cm×ヨコ4cmの大きさのものを枠内に正しく貼ること。 2. 写真の裏面に氏名を記入すること。 3. 眼鏡の有無の違いや写真の修整等により、試験当日の本人の容姿と大きく異なるものは使用不可。		出身大学院	大学大学院 研究科			
			課程 専攻			
		現住所	年 月 修了見込			
			〒 電話: e-mail:			
指導を希望する教員 ([]内に教員名を記入)		☐ いる [] ☐ いない				
口述試験の際、英語による口述試験を希望するか		☐ 希望する ☐ 希望しない				
学歴 〔中学校卒業からただし外国人は小学校入学から記入すること〕	年 月					
	年 月					
	年 月					
	年 月					
	年 月					
	年 月					
職歴	年 月					
	年 月					
	年 月					
	年 月					

記入上の注意 (1) ※印欄には記入しないこと。
(2) 性別、修了・修了見込は該当するものを○で囲むこと。

2020年度
一橋大学大学院博士後期課程
特別選考(AO入試:社会人)写真票

経済学研究科	※ 受験番号
--------	-----------

氏 名	(ふりがな)	男・女
	(英語表記)	
	年 月 日生	

写真貼付欄 1. 写真は最近3ヶ月以内に撮影した、正面向、上半身脱帽、タテ6cm×ヨコ4cmの大きさのものを枠内に正しく貼ること。 2. 写真の裏面に氏名を記入すること。 3. 眼鏡の有無の違いや写真の修整等により、試験当日の本人の容姿と大きく異なるものは使用不可。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px; text-align: center;">口述</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">※</td> </tr> </table>	口述	※
口述	※		

記入上の注意

- 1 ※印欄は記入しないこと
- 2 性別を○で囲むこと

一橋大学大学院経済学研究科
特別選考(AO 入試)による社会人の博士後期課程編入学

口述試験参考資料

受験
番号

※

氏 名

●業務上・研究上の経験、資格、技能など、出願に際して特にアピールしたい事柄を以下に記入すること。
過去に執筆した論文や報告書等、選考に際して参考になる資料があれば、本書式と共に提出しても良い。

記入上の注意 ※印欄は記入しないこと。

学業評価書

志願者 氏名

記入欄

今までの学習状況や研究成果、将来の研究計画、志願者について特記すべき能力など参考となる点をなるべく具体的にご記入ください。

西暦 年 月 日

評価者

(大学名等)

(職名等)

氏 名 _____ 印

(連絡先)

E-mail:

Tel:

評価書の内容について問い合わせさせていただく場合がございますので、連絡先情報も必ずご記入ください。

※印は記入しないこと。

一橋大学大学院経済学研究科要覧

- 1 大学院は、一般的並びに専門的教養を基礎として、社会科学の専攻分野を究め、高い学識と研究能力を養うことによって広く文化の向上発展に寄与すること又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことにより社会に貢献することを目的及び使命とする。(学則第33条)
- 2 本学大学院経済学研究科には、下記に掲げる授業科目がある。

○コア科目

上級ミクロ経済学 中級マクロ経済学	上級マクロ経済学 中級計量経済学	上級計量経済学 上級政治経済学Ⅰ	比較経済史	中級ミクロ経済学
----------------------	---------------------	---------------------	-------	----------

○ミクロ経済学

上級ミクロ経済学 経済システム論Ⅰ・Ⅱ 国際経済政策論Ⅰ・Ⅱ 都市空間論 公共経済特論A～F 法と経済学 医療保険論 上級環境経済学Ⅰ・Ⅱ 実験経済学 開発政策論 特別講義(アジア開発金融論)	中級ミクロ経済学 ゲーム理論Ⅰ・Ⅱ 国際経済開発論Ⅰ・Ⅱ 産業地理学 Contemporary Public Policy A～F 医療経済学セミナー 医療産業論 上級資源経済学Ⅰ・Ⅱ 特別講義(Behavioral Topics) 開発途上地域論 開発援助論	上級理論経済学Ⅰ・Ⅱ 特別講義(契約と組織の経済学) 上級労働経済学Ⅰ・Ⅱ 経済立地論Ⅰ・Ⅱ 医療経済分析 健康増進政策論・医学総論 上級技術経済学Ⅰ・Ⅱ 上級開発経済学A～F 開発情報システム論 開発と環境	経済数学Ⅰ・Ⅱ 特別講義(マーケット・デザイン) 人的資源論 経済社会空間論 租税理論 医療工学概論 医療管理政策論 環境・資源経済分析A～F 比較経済発展論 産業開発論 応用ミクロ経済学A～F	数理経済学 上級国際経済学Ⅰ・Ⅱ 上級産業経済学Ⅰ・Ⅱ 公共経済学Ⅰ・Ⅱ 公共支出論A・B 医療経済論Ⅱ 保健医療活動とリスク管理 上級現代経済論Ⅰ・Ⅱ 地域開発論 開発金融論
--	--	---	---	---

○マクロ経済学

上級マクロ経済学 国際経済機構論	中級マクロ経済学 国際経済関係論	上級現代経済論Ⅰ・Ⅱ 応用マクロ経済学A～F	マクロ経済特論A～F 特別講義(Value Investing in Asia)	国際通貨論
---------------------	---------------------	---------------------------	---	-------

○経済統計・計量経済・情報数理

上級計量経済学 確率・統計特論A～F 特別講義(金融工学とリスクマネジメント) 数理解析Ⅰ・Ⅱ	中級計量経済学 中級計量ファイナンス 古典解析	計量経済学特論A～F 計量ファイナンスA・B 経済データ分析論 応用数理	上級統計学Ⅰ・Ⅱ ファイナンス経済論A・B 統計調査論 比較統計システム論	確率論Ⅰ・Ⅱ 計量ファイナンス特論A～F 数理構造Ⅰ・Ⅱ
--	-------------------------------	---	--	------------------------------------

○政治経済学・経済思想

上級政治経済学Ⅰ・Ⅱ 比較経済思想	経済体制特論 移行経済論	経済システム論Ⅰ・Ⅱ 新興市場経済論	経済学史応用Ⅰ・Ⅱ 各国経済思潮A・B	比較経済システム論
----------------------	-----------------	-----------------------	------------------------	-----------

○経済史

比較経済史 東洋経済史	現代経済史 日本経済史	文明史 比較経済システム論	経済史特殊問題 比較経済発展論A～F	西洋経済史
----------------	----------------	------------------	-----------------------	-------

○地域経済

日本経済論 南アジア経済特論 地域経済各論(アメリカ) 移行経済論	地域経済論A～F 西アジア経済特論 地域経済各論(ヨーロッパ) 新興市場経済論	地域研究方法論 地域経済各論(日本) 地域経済各論(ロシア・中東欧) 各国経済思潮A・B	日本経済特論 地域経済各論(アジア・オセアニア) 地域開発論	東アジア経済特論 地域経済各論(アフリカ・中近東) 開発途上地域論
--	--	---	--------------------------------------	---

○語学・演習・ワークショップ等

Academic and Professional PresentationsⅠ・Ⅱ 演習	副ゼミナール	Research-Based Academic WritingⅠ・Ⅱ ワークショップ	リサーチ・ワークショップ	経済学研究の日本語(留学生用) インディペンデント・スタディ
--	--------	---	--------------	-----------------------------------

- 3 修士課程では、2年以上在学し、演習を含む所定の授業科目を履修し、別に学位論文を提出しなければならない。
- 4 博士後期課程は、3年以上在学し、演習を含む所定の授業科目を履修し、別に学位論文を提出しなければならない。
- 5 いずれの課程においても、特に優秀と認められた学生には、特例として在学期間の短縮が認められる。

2020年度 一橋大学大学院経済学研究科担当教員一覧(予定)

〔氏名〕	〔役職〕	〔専門分野〕	〔氏名〕	〔役職〕	〔専門分野〕
阿部 修人 ABE, Naohito	教授	マクロ経済学、日本経済論、家計消費	西出 勝正 NISHIDE, Katsumasa	教授	金融工学、金融経済学
有本 寛 ARIMOTO, Yutaka	准教授	開発経済学、日本経済史、農業経済学	岡部 智人 OKABE, Tomohito	講師	マクロ経済学、政治経済学
榎本 武文 ENOMOTO, Takefumi	准教授	ルネサンス期における人文主義・修辞学、ルネサンス期における古典学研究	岡田 羊祐 OKADA, Yosuke	教授	産業組織論、競争政策、規制政策
藤嶋 翔太 FUJISHIMA, Shota	准教授	都市・地域経済学、ネットワークの経済学	岡室 博之 OKAMURO, Hiroyuki	教授	産業組織論、企業経済学
深尾 京司 FUKAO, Kyoji	教授	マクロ経済学、経済発展論、国際経済学	奥田 英信 OKUDA, Hidenobu	特任教授	開発金融論、開発経済学
後藤 玲子 GOTOH, Reiko	教授	厚生経済学、経済思想・哲学	小塩 隆士 OSHIO, Takashi	教授	公共経済学、社会保障
橋沼 克美 HASHINUMA, Katsumi	教授	各国経済思潮・英米	大月 康弘 OTSUKI, Yasuhiro	教授	経済史、西洋中世史、地中海地域研究
本田 衛子 HONDA, Eiko	准教授	社会保障論、医療経済	左三川 郁子 SAMIKAWA, Ikuko	准教授	金融論、金融政策
本田 敏雄 HONDA, Toshio	教授	数理統計学、計量経済学	笹倉 一広 SASAKURA, Kazuhiro	准教授	各国経済思潮・中国
堀 雅博 HORI, Masahiro	教授	日本・アジア経済論、計量実証分析	佐藤 主光 SATO, Motohiro	教授	財政学、公共経済学
井伊 雅子 II, Masako	教授	医療経済学、公共経済学	澤田 真行 SAWADA, Masayuki	講師	計量経済学、労働経済学
今村 和宏 IMAMURA, Kazuhiro	特任教授	日本語教授法、社会科学の日本語	塩路 悦朗 SHIOJI, Etsuro	教授	マクロ経済学、日本のマクロ経済
石川 城太 ISHIKAWA, Jota	教授	国際経済学、産業組織論	杉田 洋一 SUGITA, Yoichi	講師	国際貿易論、産業組織論
石倉 雅男 ISHIKURA, Masao	教授	政治経済学、経済学史	高橋 秀典 TAKAHASHI, Hidenori	講師	実証産業組織論、実証情報経済学
磯部 健志 ISOBE, Takeshi	教授	数学、解析学	高久 玲音 TAKAKU, Reo	准教授	医療経済学、医療政策
祝迫 得夫 IWAISAKO, Tokuo	教授	ファイナンス、実証マクロ経済学	高山 直樹 TAKAYAMA, Naoki	講師	マクロ経済学、労働経済学
岩崎 一郎 IWASAKI, Ichiro	教授	比較経済論、移行経済論	高柳 友彦 TAKAYANAGI, Tomohiko	講師	近現代日本経済史、近現代日本史
陣内 了 JINNAI, Ryo	准教授	マクロ経済学、金融論	武岡 則男 TAKEOKA, Norio	教授	意思決定理論、ミクロ経済学
神林 龍 KAMBAYASHI, Ryo	教授	労働経済学、経済発展、法と経済学	竹内 幹 TAKEUCHI, Kan	准教授	公共経済学、実験経済学
加納 隆 KANO, Takashi	教授	マクロ経済学、国際金融論	田中 万理 TANAKA, Mari	講師	開発経済学、労働経済学、国際貿易
菊地 信義 KIKUCHI, Nobuyoshi	講師	応用ミクロ計量経済学、教育経済学、労働経済学	田中 雅行 TANAKA, Masayuki	准教授	統計調査論
北村 行伸 KITAMURA, Yukinobu	教授	応用計量経済学、ミクロ計量経済学、公共経済学	手島 健介 TESHIMA, Kensuke	准教授	国際貿易論、開発経済学
雲 和広 KUMO, Kazuhiro	教授	移行経済論、ロシア経済論	富浦 英一 TOMIURA, Eiichi	教授	国際経済学、応用計量経済学、日本貿易産業論
黒崎 卓 KUROSAKI, Takashi	教授	開発経済学、農業経済学、アジア経済論	友部 謙一 TOMOBE, Kenichi	教授	日本経済史近世以降、歴史人口学
黒住 英司 KUROZUMI, Eiji	教授	時系列分析、計量経済学	津田 照久 TSUDA, Teruhisa	教授	数学、複素領域の微分方程式
桑名 陽一 KUWANA, Yoichi	准教授	数理統計学、応用確率論	植杉 威一郎 UESUGI, Iichiro	教授	企業金融、中小企業、日本経済
李 根雨 LEE, Guenwoo	講師	開発経済学、農業経済学	宇井 貴志 UI, Takashi	教授	ミクロ経済学、ゲーム理論
馬 徳斌 MA, Debin	教授	経済史、中国経済史	宇南山 卓 UNAYAMA, Takashi	准教授	日本経済論、応用計量経済学
MACLELLAN, Philip	教授	行動経済学、質的研究、事例研究、社会的学習理論、第二言語習得	臼井 恵美子 USUI, Emiko	准教授	労働経済学、応用計量経済学
真野 裕吉 MANO, Yukichi	准教授	開発経済学、地域経済学	渡辺 智之 WATANABE, Satoshi	教授	財政学、租税法、法と経済学
増田 一八 MASUDA, Kazuya	講師	開発経済学、教育経済学、医療経済学	渡部 敏明 WATANABE, Toshiaki	教授	計量ファイナンス、マクロ計量分析
松田 一茂 MATSUDA Kazushige	講師	マクロ経済学、労働経済学	山田 俊皓 YAMADA, Toshihiro	准教授	確率数値解析、ファイナンス数
松下 幸敏 MATSUSHITA, Yukitoshi	准教授	計量経済学	山本 庸平 YAMAMOTO, Yohei	教授	計量経済学、マクロ経済分析、国際金融
南 裕子 MINAMI, Yuko	准教授	現代中国社会学、地域社会学	山本 裕一 YAMAMOTO, Yuichi	准教授	ミクロ経済学、ゲーム理論
望月 政志 MOCHIZUKI, Masashi	講師	食料環境経済学、水産経済学	山重 慎二 YAMASHIGE, Shinji	教授	財政学、公共経済学、社会政策
森 宜人 MORI, Takahito	准教授	西洋経済史、ヨーロッパ都市史	山下 英俊 YAMASHITA, Hidetoshi	准教授	環境・資源経済学、廃棄物政策、エネルギー政策
森口 千晶 MORIGUCHI, Chiaki	教授	比較経済史、比較制度分析、家族の経済学	横尾 英史 YOKOO, Hidefumi	講師	環境・資源経済学、開発経済学
森田 穂高 MORITA, Hodaka	教授	産業組織論、組織経済学	横山 泉 YOKOYAMA, Izumi	准教授	労働経済学、応用計量経済学
中山 能力 NAKAYAMA, Chikara	教授	数学、代数学			

○教員の詳細については、以下ウェブページを参照してください。

<https://hri.ad.hit-u.ac.jp>